

## (5) 甲 信 越



甲信越地域では、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。

- ・ 鉱工業生産は一部に持ち直しの動きがみられる。
- ・ 個人消費はこのところ持ち直している。
- ・ 雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっている。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す (    は上方に変更、    は下方に変更)。

### 前回からの主要変更点

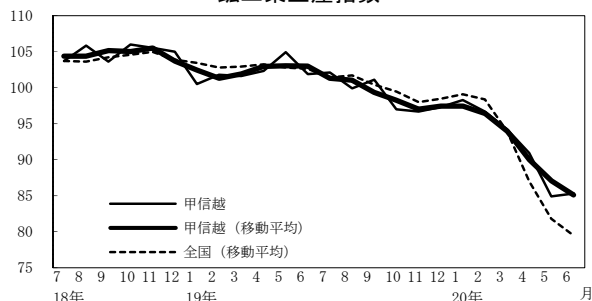
	前回 (令和2年5月)	今回 (令和2年9月)	
景況判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる	↑
鉱工業生産	新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している	一部に持ち直しの動きがみられる	↑
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している	このところ持ち直している	↑
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している	感染症の影響により、弱い動きとなっている	→

### 1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は一部に持ち直しの動きがみられる。

4-6月期には、「電子デバ、電気・情報通信」は、減少した。「汎・生産・業務用機械」は、減少した。「石油・石炭製品、化学、プラ製品」は、減少した。「鉄鋼業、非鉄金属、金属製品」は、減少した。

鉱工業生産指数



- (備考) 1. 2015年=100、季節調整値。甲信越の最新月は速報値。  
 2. 全国及び甲信越の太線は中心3か月移動平均。直近月は2か月平均。  
 3. 甲信越は内閣府にて算出。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		1-3 月期	4-6 月期	4月	5月	6月
電子デバ、電気・情報通信	28.9	▲0.9	▲6.3	▲2.6	▲4.2	▲6.5
汎・生産・業務用機械	24.8	▲1.3	▲8.0	2.8	▲6.4	3.3
食品・たばこ	12.0	5.0	—	▲1.2	▲4.3	—
石油・石炭、化学、プラ製品	10.3	▲5.3	▲11.5	▲1.4	▲11.0	▲2.5
鉄鋼業、非鉄金属、金属製品	8.8	▲0.7	▲15.9	▲8.1	▲9.5	2.7
鉱工業	100.0	▲0.6	▲9.7	▲3.5	▲6.6	0.5

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。  
 2. 4-6月期、6月は速報値。速報値において、化学は医薬品を除いたもの、食品・たばこは公表されていない。  
 3. 業種は内閣府にて分類。

## 2. 個人消費の動向

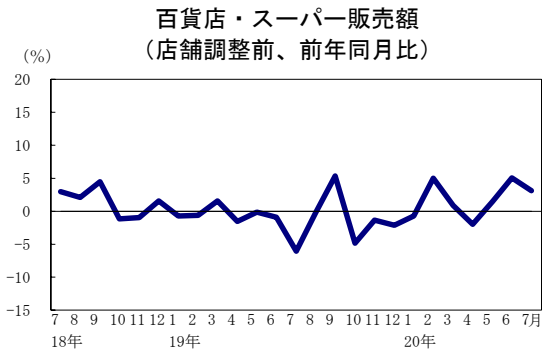
個人消費はこのところ持ち直している。

### (1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

4月は前月比9.5%減、5月は同2.9%減、6月は同7.5%増となった。

### (2) 百貨店・スーパー販売額

緊急事態宣言等に伴う休業や営業時間の短縮が実施されるなか、4月は前年同月比2.0%減、5月は同1.5%増となった。6月は、緊急事態宣言解除に伴う営業再開等により、同5.0%増となった。7月は同3.1%増となった。



	2020年4-6月	2020年4月	5月	6月	7月
RDEI (消費*1)	▲12.0	▲9.5	▲2.9	7.5	—
百貨店・スーパー(*2)	1.5	▲2.0	1.5	5.0	3.1
乗用車(*3)	▲31.1	▲27.3	▲47.0	▲20.0	▲9.0
(季節調整値)(*3)	▲17.0	▲8.8	▲24.9	35.7	21.0

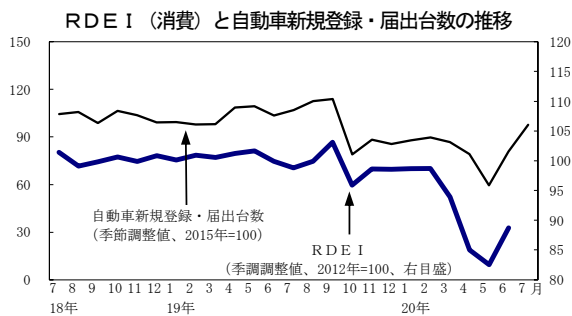
(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

2020年7月は速報値。

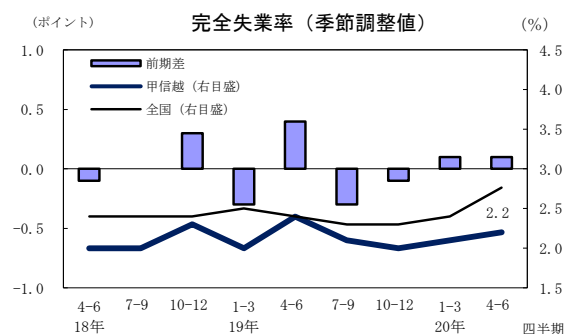
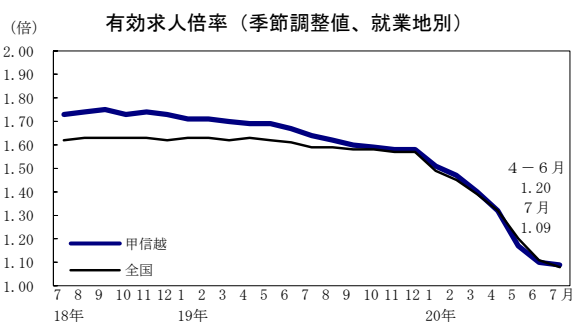
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



## 3. 雇用情勢

雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっている。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を上回っている。



(備考) 内閣府にて算出、季節調整。

(13) 景気ウォッチャー調査 (令和2年7月調査) 景気判断理由の概要

5. 甲信越

( 良、 やや良、 不変、 やや悪、 ×悪 )

	分野	判断	判断の理由
			判断の理由
現状	家計 動向 関連	×	・新型コロナウイルスの影響は、今も続いている。長期営業休止時と比べれば回復しつつあるが、前年と比べると半分がやっとである(商店街)
			・新型コロナウイルスと長梅雨の影響で、客足が鈍っている(ゴルフ場)
	企業 動向 関連	×	・新型コロナウイルスの感染者の増減を、連日報道しているが、感染者数によって日々の売上が変わってくる状況である(タクシー運転手)
			・5～6月は販売量が少しずつ回復してきていたが、7月は落ち込みはしないものの、回復度合いが鈍化している(新聞販売店[広告]) ・依然として景気は停滞したままであり、回復の見通しも不透明である(建設業) ・前年と比べて約8割の受注である(出版・印刷・関連産業)
	雇用 関連	×	・求人を含め引する製造業で、求人がかなり冷え込んでいる(民間職業紹介機関) ・助成金で辛うじて首がつながっているだけで、倒産までの時間が延びただけである(職業安定所)
その他の特徴 コメント		○ : Go To Travelキャンペーンが始まったものの、東京が除外されているため、予約の入りが悪い(都市型ホテル) × : ハローワークも含めて、とにかく求人が減っている。求職者も諦めかけており、求職の方向を変えている。この傾向はしばらく続く(人材派遣会社)	
先行き	家計 動向 関連	×	・当市では5000円分の商品券を3000円で買うことができるプレミアム付商品券のイベントが行われる予定で、販売参加登録もしてある。1か月の店舗売上が100万円以上ある店は総額100万円分、100万円以下は総額50万円分の販売チケットを申請できる。イベントを通じて、少しでも景気が良くなれば有り難い(スーパー)
			・新型コロナウイルスの感染拡大が収まらなければ、一層の外出自粛や再度の営業自粛、緊急事態宣言が発出されるため、悪くなる(高級レストラン)
	企業 動向 関連	×	・新規案件が少ないため、変わらない(電気機械器具製造業) ・受注は上向いてきているものの、新型コロナウイルスの感染者数が増加してきており、先行きは不透明である(一般機械器具製造業) ・新型コロナウイルス感染の第2波の影響で、一層外出が厳しくなり、取引先からの発注は増えないとみている。しばらくはこの調子で、景気はますます厳しくなる(食料品製造業)
			雇用 関連
	その他の特徴 コメント		○ : 新型コロナウイルス感染の第2波への懸念はあるものの、生産が安定してくれば新型車効果もあり、現状より改善が見込まれる(乗用車販売店) × : 新型コロナウイルスの感染が再び拡大しつつある不安と経済的な不安から、より一層厳しさは増していく(通信会社)

(D I) 現状・先行き判断D I (甲信越)の推移(季節調整値)

